

かわる版

第113号
平成23年2月1日発行

(発行)
富山大学附属病院
病院広報室
076-434-7019

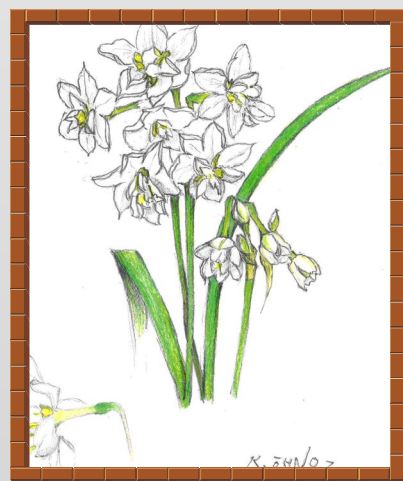


南病棟全景

平成22年11月末に完成した南病棟

目次

- 病院長からのメッセージ 2
- 附属病院再整備計画 3
- 新しい医療環境を目指す 4
- 新病棟に期待する 8
(臨床研修部/NICU)
- 導入されるピクトグラムとは 9
- この人に聞く 10
- 南病棟建設ギャラリー 11
- インフルエンザから身を守る 12



「水 仙」

学名：Narcissus tazetta var. chinensis (日本水仙)
地中海沿岸原産。平安末期に中国から渡来。開花時期は、12月中旬～翌4月頃まで。早咲きものは正月前に咲き出すものもあります。漢名の「水仙」はきれいな花の姿と芳香がまるで「仙人」のようなところから命名されたということです。

病院長からのメッセージ

病院長 遠藤 俊郎



～2011年新春ならびに 富山大学病院南病棟完成のご挨拶～

2011年、今冬は例年になく雪の多さと寒さの厳しい年の初めとなりました。入院闘病中あるいは通院中の方々、そしてご家族にとってもご苦労の日々であろうと存じます。皆様のご回復、健康維持を心より願い、私ども病院教職員もそのお手伝いをできるよう、日々の診療活動に全力を尽くしていきたいと存じます。

本年最初の富山大学附属病院だより「かわら版113号」をお届けします。

今回のかわら版は、新春早々の1月8日-10日に無事引っ越し作業を行い、診療活動を開始した新南病棟の完成・紹介号とさせていただきます。新病棟の完成には、多くの方々のご尽力があり、また設備等には現場教職員のアイデアを含め様々な工夫もなされております。本院は1979年10月に富山医科薬科大学病院として開設され、32回目の冬を迎えた建物は、老朽化も目につくようになってきました。今では県内の公的病院のなかで最も古い建物の病院となってしまいました。その意味で、今回の新病棟完成は病院教職員にとって長年の希望の一部がかなえられたものであり、患者さんのより良い回復のために力を尽くす上でも大きな励みになるものと感じています。建築に関わられた関係者、そして建築作業に伴う診療環境の不備を辛抱して下さった患者さん方、全ての皆様に感謝申し上げます。

一方で、入院・通院患者さんの皆様にはさらなるご理解を頂きたい点がございます。実は、病院の再整備計画は平成20年より29年まで4期計画で順次行われるもので、今回は第一期の段階を終えたにすぎません。本年は引き続いて現東病棟の改修作業に着手致しますが、全面改修完成までにはなお7年を要します。特に今後の作業は、全て既存の建物の基本構造を残したうえでの新たな改修をすすめるもので、現場の作業や環境維持には多くの困難の発生が予想されております。診療環境の点で、皆様におかけするご迷惑はできるだけ小さいものとするよう心がけてまいりますので、今後ともご理解とご協力頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

病院にかかれる皆様にとって、病院の建物ノ

ノは古いよりは新しい方が
良いとは思いますが、しかし

重要な事は、建物の新旧ではなく、確実・安全で満足できる医療が受けられることに尽きるのではないのでしょうか。富山大学病院は、安全と高度先進医療を提供する「患者さんにやさしい病院」をコンセプトに、日々診療を続けております。国内学に発信出来る最先端の医療研究に裏打ちされた高度先進医療機能を有する富山県の中核医療機関として、県民の皆様には最高の医療サービスを提供するとともに、医学教育および研修教育病院として信頼されるよう将来を担う医師・看護師など医療者の育成にも努めております。今後とも教職員一同、なお一層切磋琢磨して参る所存でございますので、どうぞよろしくお願い致します。なお富山大学病院の理念、具体的取り組み事項につき、よりわかりやすい形をと考え、下記の通り変更させていただきました。また、日頃の診療内容や院内対応等につきご不満やお気づきの点がございましたら、投書箱を利用して何なりとご意見をお寄せください。

【富山大学附属病院の理念】

大学病院としての使命を認識し、病める人の人権や個性を重視した信頼される先進医療を行うとともに、専門性と総合性を合わせ持つ将来の医学発展を担う医療人を育成する。

【富山大学附属病院の目標】

- 病める人の人権や個性を重視し、良質で安全な心の通った暖かい医療を行う。
- 特定機能病院として、専門性と総合性の調和した先進医療を提供する。
- 関連する医療・行政機関との連携体制を構築し、地域医療や福祉の向上に寄与する。
- 総合的視野と高い専門能力を持った次代を担う医療人を育成する。
- 医学研究と先端医療の開発・推進に取り組み、医学の発展に貢献する。
- 病院業務の専門性を高め、すべての職員にとって働きがいのある職場・労働環境を構築する。

皆様にとって2011年が良い年でありますよう、願っております。

附属病院再整備計画

附属病院再整備推進室 室長

木村友厚

本院は、昭和54年10月の開院以来、富山県における地域医療の中核病院として貢献してまいりましたが、開院から30年を経過したことによる施設の老朽化が進み、高度医療を推進するうえで手術室や病棟の狭隘化が大きな障害となっております。

また、6床室を主力とした病室構成に対する患者アメニティーの向上が強く望まれており、平成20年度に全体計画が認められ、本格的な病院の再整備が進められて来ました。第1期工事として南病棟の工事が完了し、本年1月8日～10日の3日間で入院患者さんの約半数の移動も終わり、本格的な運用がスタートしました。

来年度は現在の東病棟の改修工事がスタートします。完成後には患者さんを送り出した後に、西病棟の改修工事が進められ、2年後には個室が大幅に増え、4床室を中心とした快適な療養環境が整う予定となっています。また、2年後には手術室の改修工事も進められ、現在の9室から11室に拡張される予定です。

さらにその後、外来棟の改修、中央診療棟の改修など平成29年度の全体工事完了まで工事が続く予定です。その間、患者さんにはご迷惑をおかけ致しますが、よりよい診療の提供を目指す病院機能のステップアップにご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

富山大学附属病院再整備年次計画

棟名称	工期	工種	構造・階数	面積	工事予定期間												
					平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
南病棟 (新病棟)	第1期	新築	鉄骨・鉄筋コンクリート 7階	13,000㎡	増築	22年11月末完成											
東病棟	第2期	改修Ⅰ期	鉄骨・鉄筋コンクリート 7階	(7,460㎡) 100㎡	東病棟改修												
西病棟		改修Ⅱ期	鉄骨・鉄筋コンクリート 7階	(6,140㎡)	西病棟改修												
中診(手術部)		改修	鉄筋コンクリート3階 鉄骨造3階	(2,300㎡) 320㎡	手術部改修												
外来診療棟	第3期	増築	鉄骨造3階	1,940㎡	外来増築												
		改修	鉄筋コンクリート 3階 地下1階	(8,640㎡)	外来改修												
中央診療棟	第4期	改修	鉄筋コンクリート 3階 地下1階	(12,500㎡)	中診部門改修												

注)東病棟及び西病棟は、改修後、北病棟となります。()増きの面積は改修面積

(病院再整備のコンセプト)

1. 先端医療の実践

がん診療拠点病院としてのがんセンター整備、集学的治療を可能にする手術室整備と先端手術の実施、移植・再建医療の開発と実践、遺伝子診断と新規治療の開発応用・・・等

2. 救急医療・プライマリーケアの充実

救急体制の充実（救命救急センターの設置）
総合外来の設置、地域医療連携室の充実、卒後臨床研修センターの充実

3. プライバシー環境の充実と癒し空間の提供

療養環境の充実（6床室の解消）、診療環境の整備、患者さんの自立向上の支援と地域との連携・・・等

4. 東西医学の融合

東西両医学の相互補完的な融合診療の提供、東洋医学の臨床教育の提供・・・等

5. 教育環境の充実

学部学生、大学院生及び研修医の臨床実習・研修内容の充実



南病棟に完成したNICU(12床)



南病棟に完成した4床室

新しい医

はじめに 今回完成した南病棟は病院再整備の一環として新築されました。この病院再整備計画では病院全体デザインを本学芸術文化学部との共同プロジェクトとして行っています。

「**高度な医療とホスピタリティのある医療環境の構築**」を目指し、以下の3つのねらいで新しい富山大学附属病院を構築しています。

富山大学附属病院らしさづくり

- ・病院理念等メッセージの発信
- ・医師・看護師の紹介
- ・医療成果・研究内容の紹介
- ・菓の街富山の表現
- ・院内散策道の整備

快適な施設づくり

- ・穏やかな色彩計画／病室のインテリアや備品とも連携
- ・木質材料の活用（本物の活用）
- ・自然光・照明の見直し（光だけでなく影をデザイン）
- ・アート作品・各種展示計画の見直し
- ・病院キャラクターの活用

わかりやすい施設づくり

- ・施設名称の再定義や各受付の番号化
- ・空間的視認性の確保と大胆な改修による見通しの創出
- ・案内の軸となる主導線の構築
- ・明快な表現と大きめの表示
- ・各種案内物との情報のリンク

Color Concept

新たな富山大学附属病院に向けて、高度な医療とホスピタリティのある医療環境を目指しながら、富山の自然、富山の医療、富山の人々と合わせ、富山の和漢薬の歴史を伝えるキーワードとして樹皮、根菜、花と実と清らかな水のイメージから五感に伝わる色彩とデザインを展開します。

南

病棟

四季の香り、心なごむ花や恵み

朝のコミュニケーションから生まれる安心の言葉
患者さんとのぬくもりある看護姿勢を表現



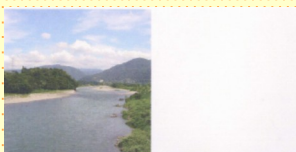
香

北

病棟

日本海へ向けて流れ込む美しい清流

清らかな心とゆったり流れる時間
患者さんとスタッフの静かな安堵を表現



清

中

中央診療棟

力強く大地に根をはる生命力

最新の治療技術をもって多くのスタッフとの連携と信頼される医療を表現



地

外

外来診療棟

厳しい寒さに耐え、まっすぐに育つ樹木

医療スタッフの高度医療への取り組みの姿勢とつつみ込むあたたかさを表現



樹

療環境を目指す

全館案内



東病棟7階から見た南病棟

南 [S.W.]			東 [E.W.]			西 [W.W.]			中 [M.W.]			外 [O.W.]		
7	南7 入院室 Room 751-770		南7 入院室 Room 751-767		西7 入院室 Room 701-715									
6	南6 入院室 Room 651-680		南6 入院室 Room 651-667	改修工事中 Under Construction										
5	南5 入院室 Room 551-571	50 CCU	改修工事中 Under Construction		西5 入院室 Room 501-518									
4	南4 入院室 Room 451-475		改修工事中 Under Construction		改修工事中 Under Construction									
3	南3 入院室 Room 351-375		改修工事中 Under Construction		西3 入院室 Room 301-317				37 手術部 Surgical Operation		30 小児科受付 Pediatrics Reception		35 放射線科受付 Radiology Reception	3
2	南2 入院室 Room 251-270	28 NICU NICU 29 GCU GCU	改修工事中 Under Construction		西2 入院室 Room 201-216				25 採血受付 Blood Sampling Reception		20 内科受付[初診・入院] Internal Medicine Reception		24 医療福祉サポートセンター [相談窓口] Medical Welfare Support Center	2
1	レストラン Restaurant コンビニ Convenience Store 自販機コーナー Vending Machines 理容室 Barber 簡易郵便局 Post office 多目的ホール Multipurpose Hall 卒業臨床研修センター Office of Postgraduate Clinical Training		17 核医学検査受付 (RI) Nuclear Medicine Reception		15 画像診断受付 (レントゲン) Diagnostic Imaging Reception				26 生理検査受付 Physiological Examination Reception		21 内科受付[再診] [再診] [再診] 第一内科・第二内科・第三内科 第一外科・第二外科・第三外科 神経内科・総合診療部 Neurology, General Internal Medicine, Neurology, General Internal Medicine		1 はじめての方 First Time Visitor	1
			18 リハビリテーション受付 Rehabilitation Reception		16 CT検査・MR検査 放射線治療受付 CT, MR, Radiotherapy Reception				27 輸血・細胞治療部 Transfusions Medicine and Cell Therapy		11 眼科受付 Ophthalmology Reception		2 診療受付・保険証確認 Outpatients, Health Insurance	
			19 光学医療診療受付 (内視鏡室) Endoscopy Reception		SPIRITセンター [経営企画情報部] SPIRIT Center				検査部 Clinical Laboratory Center		12 脳神経外科受付 Neurosurgery Reception		3 入退院・証明書受付 Check-in or discharge, Documents	
			材料部 Stores Supply		自販機コーナー Vending Machine				検査部 Comprehensive Cancer Center		13 泌尿器科受付 Urology Reception		4 再来受付機 Revisit Registration	
									病理部 Laboratory of Pathology		14 歯科口腔外科受付 Dental and Maxillofacial Surgery Reception		5 会計受付 Bill Calculation	
											総合診療案内 General Medical Care Guidance		6 お支払い・お薬引換券お渡し Payment/Refund slip to get medication	
											総合案内 General Information		7 処方せん・お薬渡し口 Dispensary Center	
											時間外・面会受付 Over-Time, Visitors Reception		8 院外処方せん・FAXコーナー Extramural Prescription FAX Corner	
											救急部受付 Emergency Reception		フラワージュップ Flower Shop	
											薬剤部時間外窓口 Dispensary Center		コーヒージュップ Coffee Shop	
													薬剤部 Pharmacy	
														B1

今後の改修工事を含め、病院全体が Color Concept に従って色分けが行われると同時に主要な窓口や受付には番号が標記されます。



南病棟2階に設置されたGCUの入口には全館の案内図とリンクした大きなサイン「29」と表示されています。



病棟から外来へつながる中央通路にも、総合受付など主要な場所への大きな番号サインが掲げられ、要所要所の壁には必要なマップが掲示されます。

南病棟 1階に整備された各種施設



卒後臨床研修センター

研修生や医師のトレーニング用シミュレータのある部屋（スキルスラボ）も併設され、研修環境の充実が図られました。



職員食堂

広く明るくなった職員食堂。座席も150席が確保されており、メニューも豊富になりました。朝7時から営業しており、当直明けの朝食もOK！



レストラン ビアンモール

営業時間は8:00-19:00
 価格も手ごろなレストラン。
 お勧めは日替わりランチ、札幌から直送の「みそラーメン」。
 月毎に替わる季節のフェアメニューなど種類も豊富に取り揃え
 皆様をお待ちしています。



コンビニ

営業時間は7:00-21:00
 広がったコンビニ、営業時間も従来より長く、便利になりました。
 焼きたてパンも販売しております。



簡易郵便局 営業時間は
平日9:00-16:00



多目的ホール

ちょっとした演奏会も開けるコミュニケーション広場です。木のぬくもりを感じることができ、ゆったりとしたひと時を過ごすことができます。



自販機コーナー



理容室 営業時間は
平日9:00-18:00

南病棟に配置される病室



4床部屋
63室

一般的な4床部屋
1床あたりの面積をできるだけ広く確保

特別室A
27室

落ち着いたダークグレーの色調
シャワー・トイレ完備



個室
63室

従来の病棟に比べ個室を大幅に増やしました
トイレ完備

特別室S
2室

VIP対応のサービス
シャワー・トイレの他ミニキッチンも装備



新しくなった設備

TV・冷蔵庫が一体となった床頭台



下段は冷蔵庫、利用料金は24時間100円

地デジ対応となったTV、衛星放送も視聴可能。
1日最大180円の低価格で見ることができます。



セーフティボックスも準備しました。



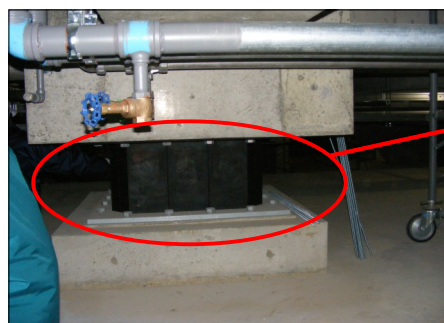
4床室にはベッドサイドの個別ロッカー以外に暗証番号つき収納棚も準備しました。



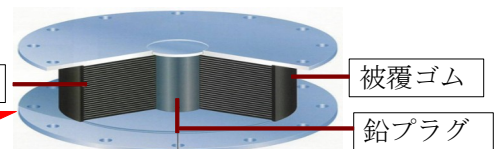
4床室の間に配置した廊下のトイレと車イス置き場

縁の下の力持ち

免震構造



内部鋼板+ゴム



被覆ゴム

鉛プラグ

患者さんの命を支える南病棟では病棟を支えるすべての柱の下には厚さ約40cm程度のゴムと鋼板を重ね合わせたもの（左の写真の赤丸部分）が組み立てられており、これを介して基礎部分と接続されています。これにより震度6強の地震においても地震の揺れを吸収し、建物の倒壊を防ぎ、主要な医療機器が倒れないような構造となっています。

新病棟に期待する



臨床研修部 部長

井上 博

臨床研修部と聞いても皆さんの多くは何をする部門であるのかすぐにはお分かりいただけないと思います。平成16年から医師免許を取得した新人医師に対する研修制度が大きく変わりました。それまでは、医師国家試験に合格すると、直ちに自分の希望する領域の研修を始めていました（ストレート研修）。このようなシステムでは専門に偏った医師ばかりができて、患者さんを様々な面から診療できる医師が育たないことが危惧されました。そこで、広い診療能力を持った医師を育てることを目的として、国家試験合格後2年間は様々な診療科をローテートする新しい制度が始まりました。

旧制度では、所属する診療科が責任を持って研修医を一人前の専門家に育て上げていました。新制度では、研修期間中は個々の診療科に代わって臨床研修部が研修医の面倒をみています。医師が一人前になるには2年間の初期研修のみでは不十分であり、初期研修から専門医を目指したトレーニングへ円滑に移行しなければ、優れた医師の育成に支障が出ます。臨床研修部は、卒後臨床研修センターと専門医養成支援センターの2つのセンターから構成され、それぞれ卒業後2年間の初期臨床研修、その後の専門医養成支援を担当しています。

南病棟の新築を契機に、1階部分に臨床研修部の機能を集中させ、診療技術の訓練用シミュレータも集中的に配置し、明日の医療を担う人材育成を支える縁の下の力持ちとして、新たな出発をしたところです。

周産母子センターとは妊婦さんと赤ちゃんを対象とした診療部門です。当院周産母子センターは、産科、新生児、乳児新生児外科の3つ部門から成り立っています。産科部門は、齋藤滋教授を中心に早産の予防や妊娠中に赤ちゃんの病気を見つける胎児診断に力を入れています。また、当院には臨床心理士が常勤しており、妊娠中から出産、産後と継続してお母さんの心理的な援助を行っています。

新生児部門は集中管理が必要な新生児集中治療室（NICU）と退院間近の赤ちゃんが過ごす新生児後方支援病床（GCU）の二つのユニットからできています。平成23年1月より新病棟へ移転し、4月よりNICU 9→12床、GCU 6→10床へ増床となり、また新生児集中ケア認定看護師がスタッフに加わり、当院の新生児診療体制がさらに充実します。

乳児新生児外科部門は、病気のため何らかの手術が必要な赤ちゃんが対象となります。特に、心臓外科は芳村直樹教授を中心に良好な成果を挙げているため、富山県のみならず北陸各地から多くの赤ちゃんが紹介されてきます。また、心臓以外の手術に対しても、当院では各科に赤ちゃん専門の医師がいますので、赤ちゃんの病気はほぼ全て当院で治療することが可能となっています。

生まれたばかりの赤ちゃんが入院して治療を受けることはご両親にとって大変なことです。この時期は同時にご両親と赤ちゃんが家族の絆を形成する時期でもあり、当院では治療だけでなく赤ちゃんを中心としたご家族の気持ちに寄り添ったケアをしていきたいと心がけています。

周産母子センター
センター長

吉田 丈俊



新しくなったNICUにて

導入されるピクトグラムとは

看護部 副看護部長（業務担当）

中山 眞由美

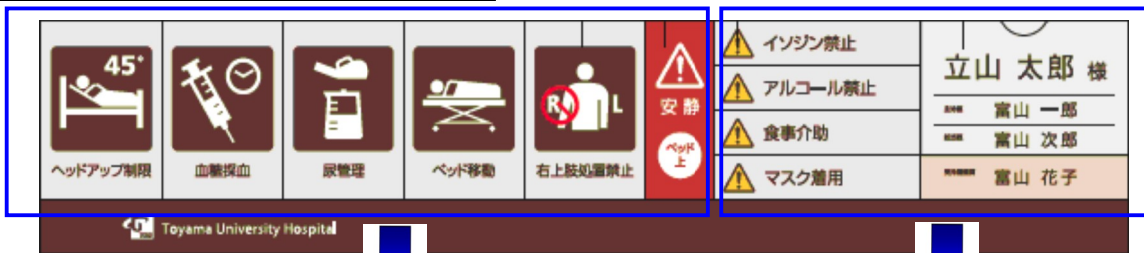
南病棟へ導入した「医療看護支援ピクトグラム」を紹介致します。

本院では患者さんと看護師だけでなく、医師・薬剤師・栄養管理士・クラーク・清掃担当者等、患者さんに関わる全ての職員にとって、患者さんの療養生活の情報がひと目でわかる「**医療看護支援ピクトグラム**」を導入しました。これは職員同士だけでなく、家族の方や面会の方にも患者さんの情報を共有し、双方のコミュニケーションツールとして活用することにより、安全・安心な入院生活を送っていただくためのものです。

このピクトグラムの表示場所は、ベッド頭上壁面（壁付型ピクトパネル）とオーバーテーブル上（デスク置式型ピクトパネル）の2か所で、これらは全てマグネットで取り外しができるように作られています。

ひとりひとりの患者さんに応じた情報を表示したインフォメーションボードとして活用されます。なおピクトグラムは入院患者さんの個人情報でもあるため貼付時には同意を得ながら進めています。

①ベッド頭上壁面（壁付型ピクトパネル）



入院中の生活情報を表すピクトグラムを貼るエリア

ピクトグラムでは表せない注意文字表示、安静度、ベッドネーム、当日の受け持ち看護師などを貼るエリア

②オーバーテーブル上（デスク置式型ピクトパネル）



短期間の情報表示で、ピクトグラム、検査予定表示、また検査などにもなる内服薬や食事の注意などを貼って置きます。



オーバーテーブルに置かれたピクトグラム

ピクトグラムは「絵文字」「絵ことば」と言われ、代表的なものには非常口やトイレの男女サインがあります。ピクトグラムは情報や注意を文字で表現する代わりに視覚的な絵で表現しています。絵を見ると何を表わしているのかがひと目で分かる万人のコミュニケーションツールといえます。



【非常口サイン】



【トイレの男女サイン】

この人に聞く

今回は南病棟建設にあたり、病院再整備計画を推進する立場からおふたりにお集まりいただき、南病棟完成までのお話をお聞きしました。

広報 本日はお忙しいところお時間を頂きありがとうございます。長年にわたり検討されてきた病院再整備計画が平成19年6月によりやく決定し、最初の工事として南病棟の新築が終わったところですが、今回の再整備計画にあたり苦勞された事をお聞かせください。

渡辺 私は平成20年4月に病院再整備推進室に配属されたのですが、全くのゼロからのスタートなので何から手をつければいいのかかわからず、苦勞しました。

計画の初期の段階では大学の視察を予定していませんでしたので、まず設計関係のヒアリングに参加したり、大学間のつながりで個別に病院再整備の資料を頂いたり、情報収集を行うところから始めました。

土田 私が苦勞した点では、南病棟の新築もちろん大変でしたけれど、平成19年から病棟再整備に関連した多くの工事を並行して行った事です。具体的にはエネルギー供給、監視関係の大型工事を行い、設計から発注・監理まで行ったことです。

広報 今回の病院再整備において特に工夫したり注意した点はありますか。

渡辺 竣工から移転までの期間が短かったので物品の納品スケジュールを細かく調整し、業者同士のぶつかりをなくしたりしました。また、納品の期間には盗難の防止などセキュリティには注意しました。建物に入るには番号入りの腕章で全ての人ができるようにしたり、特定の居室に入るのにカードキーを使ったり、建物への出入り口も一箇所にししたりと細心の対策を取りました。

土田 平成21年6月にはモデルルームを作って多くの病院職員の方々に見てもらい、意見をいただきました。9月には再度モデルルームを作り、病室のスペースを再検討し、大きな設計変更をした事や、中央診療棟、外来の改修を見据えたサイン計画を合わせて行ったことです。

設計時においては、富山大学では初めての免震



施設整備グループ 主幹

土田 春男



病院再整備推進室 副室長

渡辺 敬夫

構造、省エネ構造の採用、カードキーによるセキュリティ強化、空調系統の細分化などを行いました。また、南病棟の神経精神科病棟では、屋内消火栓を容易に開けられない方法を考え、テンキーで対応するよう工夫しました。

広報 今回の再整備において良かったこと及び今後の課題などについてお聞かせください。

渡辺 今回は皆さんの協力を得ながら、再整備推進室の考え方で進められたことです。そして病院全体のことを考えながら、計画を見直しました。確かに長期にわたる計画で病院をより良い形に改善していく大変な仕事ですが、病院の方向性を意識しながら病院再整備を考える、やりがいがある仕事なので今後もがんばっていききたいと思います。

土田 うれしかったのは竣工式の病院長の挨拶の中で工事関係者に「寒い中、暑い中、ご苦勞さまでした」とねぎらいの言葉を頂き、工事関係者の一員としてありがたく思った事です。

今回の南病棟は新築ですが、今後の再整備では、既存の改修ですので騒音・振動・システム等、様々な問題があります。そのために患者さん、職員へできるだけ迷惑のかからない方法を考えていきたいと思っています。また今回の病棟新築に当たり、色々な方々の意見を頂いたのをそれを参考に今後の病院再整備を行っていききたいと思います。

広報 今後も病院再整備が続き大変でしょうが、お体に気を付けてがんばってください。本日はお忙しいところありがとうございました。

南病棟建設ギャラリー



南病棟完成までには2年の歳月がかかっています。ここではこれまでの建設に関するイラストや写真をその歩みに沿って紹介します。

南病棟完成予想図



起工式(2008. 11. 13)



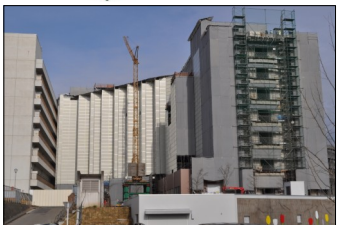
2009. 2. 26



2009. 6. 1



2009. 10. 23



2010. 4. 15



2010. 11. 16

モデルルーム見学 (2009. 06. 09)

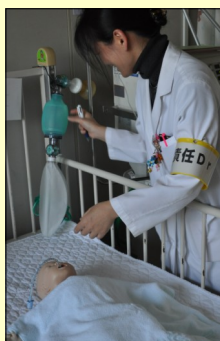


2009年6月にはプレハブにモデルルームを作り、医師・看護師・事務・建築設備など多くの関係者が見学し、広さや照明、トイレや手すりの配置、壁の色など様々な意見を出していただき、建築に反映致しました。特に4床室では医師からの強い要望でベッド間を当初より約20cm広くするなど、細かな設計変更も行いました。



テープカットする左から山口看護部長、田淵医学部同窓会理事長、文科省玉上大学病院支援室長、遠藤病院長、西頭学長、文科省辰野文教施設企画部長、小林前病院長、木村副病院長（再整備推進室長）

病棟移転シミュレーション (2010. 12. 22)



人形を使って小児科の重症患者さんの移送など、様々なアクシデントも想定した本番さながらのリハーサルを行いました。



病棟移転 (2011. 1. 8-10)

インフルエンザから身を守る

感染管理認定看護師

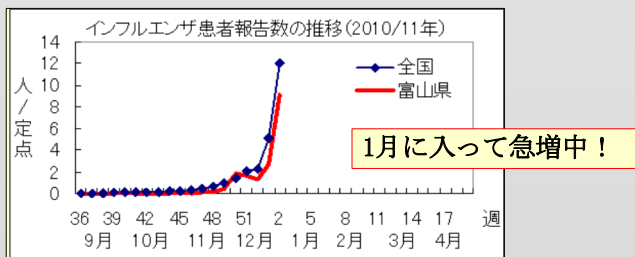
北川 洋子

インフルエンザとは毎年冬季に流行するインフルエンザウイルスによる感染症です。急に発症する38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などに加えて、咽頭痛、鼻汁、咳などの症状も見られます。流行期（我が国では例年11月～4月）にこれらの症状がみられた場合はインフルエンザの可能性が高いと考えられます。

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスを、近い距離で受けることによって（「飛沫感染」と呼ばれる感染方法）感染します。以下の対策を参考に個人個人が、またご家庭でもインフルエンザの対策に努めていただきたいと思います。

インフルエンザを予防する方法

- 1. 流行前のインフルエンザワクチンの接種**
罹患した場合の重症化の防止に有効と報告されています。
- 2. 外出後の手洗い・うがい**
手洗いは、手指に付着したウイルスを物理的に除去するのに有効です。手洗い、うがいは、一般的な感染症の予防としても基本的かつ有効な対策です。
- 3. 適度な湿度**
空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です。
- 4. 休養とバランスのとれた栄養摂取**
体の抵抗力を高めるために、日ごろから心がけましょう。
- 5. 人混みや繁華街への外出を控える**
特に高齢者や慢性疾患を持っている方、疲労気味、睡眠不足の方は注意しましょう。



富山県感染症情報センターHPより (平成23年1月21日)

インフルエンザにかかったら

- 1. 健康状態を把握し**、具合が悪い場合は医療機関での診察を受けましょう。
- 2. 安静にして**、休養をとることが一番です。特に、睡眠を十分にとることが大切です。また、水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- 3. 「咳エチケット」を実施しましょう。**
呼吸器症状のある患者さんは、感染防止上、また公衆衛生上、基本的なエチケットとしてマスク装着が望まれます。咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを着用することにより、感染性飛沫の拡散を劇的に減少させることができ、インフルエンザ対策として有効です。マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけてください。ティッシュをゴミ箱に捨てたら手洗いをしましょう。



病院玄関・救急部にマスク自動販売機が設置されています。ご利用ください。

編集後記 「病院交差点」

12月下旬から毎週金曜日の18時に工事が始まり、日曜日の夕方には終わるという外来の模様替え工事が行われています。この工事では2月いっぱいかけて、正面玄関回りや1階の中央通路、外来診療棟や中央診療棟の廊下の壁の塗り替えとサインの付け替えを行います。大きな番号標記や案内図によって患者さんにわかりやすい病院を目指します。建物は変わりませんが、なん

だか一夜にして違った病院に来たような、そんな変わりようです。「きれいになった」「わかりやすくなった」と、患者さんにも喜んでいただいています。まだまだ改善すべき点は多くありますが、患者さんにとっても、ここで働く医療者にとっても、よい病院であつたらいいな、と考えています。これからも病院広報として、新鮮な情報を皆さんにお届け致しますので、よろしく願います。(病院広報室 S. I 記)